

校報 海士

校報 「海士」第四一六号
発行 令和二年十一月四日
編集 海士町立海士小学校

隠岐の自然や文化「親しもう」秋の遠足

新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐために、今年度は、例年春と秋に実施している遠足とウォークラリーを入れ替えて行うこととし、秋の遠足は、低学年は町内崎地区、中学年は西ノ島町、高学年は隠岐の島町に出かけました。

低学年は、みかん畑を見学し、崎みかんを復活させようと数年前に移住してきた白石さんにお話を聞きました。その後は三つのグループに分かれてフィールドワークを行い、崎地区を散策しました。お菓子を買いに二つの商店にお邪魔させていただきました。三種神社では全員で参拝した後、木路ヶ崎灯台に向かいました。



中学年は、由良比女神社、摩天崖、国賀海岸のコースを回りました。由良比女神社の歴史に触れ、昔からイカが寄ってきて

ることを知りました。摩天崖や国賀海岸では、海士町では見ることのできない雄大な景色を眺めることができました。牛や馬を間近に見ることもでき、驚きを隠せない子供たちもいっぱいでした。これらの大自然の中で俳句を一句作成し、帰路につきました。



高学年は、玉若酢神社、船小屋（都方）、海洋スポーツセンター、遊覧船というコースでした。ジオパーク学習のため講師の齋藤正幸さんと同行していただきました。樹齢二〇〇〇年を超えると言われる玉若酢神社の八百杉とその周辺に点在する古墳群。太平洋側には見られないことから日本海側特有の地形が関係していることを学んだ都方地区にある船小屋。海洋スポーツセンターでは、隠岐を代表する岩石の一つである黒曜石を使ったストラップ作りの体験活動を行いました。西郷町内を歩いたり、カップ遊覧船に乗ったりして西郷町内の町並みを

陸や船上から楽しみました。



どの学年も普段ではすることのできない貴重な体験をし、町内や隠岐の良さに気づくことができた秋の遠足となりました。

校内運動会



海士校下体育大会も実施が叶わなくなりましたが、PTA代議員会では校内運動会実施に際しての助言をいただき、校内運動会の実現に向けて準備を進めてきました。三密を避けることはもちろん、

子供達（特に六年生）の思いを大切に、皆で楽しむことを目的にした運動会の計画となりました。今年度できなかったPTAなかよし運動会や校下体育大会の種目を参考にし、普段は子供達ができない種目も取り入れて行うことになりました。いつもより少し時期が遅くなりましたが一〇月二日に縦割り班による六つの種目を計画し、予定通り実施に至りました。



第一種目は「縦割り班対抗リレー」です。展開をおもしろくする工夫として取り入れられた障害物のおかげで最終アンカーにバトンが渡ると接戦となり盛り上がりました。第二種目は「ピラミッドじゃんけん」です。多くの保護者の方に「協力いただきありがとうございました。保護者にじゃんけんで勝つと進んでいけるルールだったので、じゃんけんをする際には笑顔がたくさん見られました。第三種目は「なかよしバーゲンセール」です。これはなかよし運動会の種目で、得点のついたタイヤやボールなどを取り合う種目でした。得点の高い大きいタイヤ、得点は低いが数が多く運びやすい物の



どちらをねらいにいくのか作戦のわかれどころでした。第四種目は「水移しリレー」です。これは校下体育大会の種目です。いつもは湯のみ茶碗を使いますが、今回は「おたま」で行いました。何度も瓶が落ちるハプニングがありました。割れずに最後まで注ぎきることができました。早くゴールした班が他の班を応援するシーンも見られ、気持ちのよい種目となりました。第五種目は「明日天気になあれ」です。これもなかよし運動会の種目です。スリッパとぼしを低、中、高学年、大人の四つの部門に分けて実施しました。最終種目の「宝物ゲットだぜ」はなかよし運動会で幼児が行う種目ですが、お宝をゲットしたいという児童のリクエストから選ばれました。



目標にもなっていた「ともだちと一緒に活動することを通して縦割り班のチームワークを高める」という勝ち負けにこだわらずにみんなで楽しむことが達成できた運動会でした。コロナ禍でどんなことができるかを考え模索する中で、これまでやったことのないことを一から作りあげることの難しさも感じつつ、柔軟に考えることの大切さに気付かせてもらった運動会ともなりました。

校内研究



今年度の本校の研究主題は『自分から学習に取り組む子どもの育成』「ICT機器の活用を通して」とし、研究の目標を「自分から積極的に学習に取り組む子どもを育成するための、ICT機器を活用した教材開発、有効な指導・支援のあり方を明らかにする。」としています。今年度末には一人一台のIPADが支給される見込みで、各学年に合わせた効果的な活用とはいったい何なのかについて手探り状態でスタートしています。一学期は、まずは我々教員が「ICT機器に慣れ、いろいろなことに挑戦してみる期間でした。取り組んでみた良さと課題点について職員研修の場で共有したり、機器の使い方について確認をし合ったりしました。二学期からは各学年の研究授業が始まりました。一年二組が国語科、一年一組、二年が算数科の授業を公開し職員間で研修を深めました。学習を通して児童に身に付けさせたい力はこれまでと変わらず大切に、機器の活用が目的とならないよう心掛けていくことを共通理解して進めています。

校内マラソン大会



一〇月二十九日に今年度一回目の校内マラソン大会が実施されました。例年二学期は町のマラソン大会が実施されていましたが、日程の調整等が難しくなってきたため各校での実施となりました。大会当日は天候もよく、マラソンには適した日となりました。低、中、高学年のまとまりで走るため、一年生、三年生、五年生は新たなコースでの挑戦です。二年生、四年生、六年生は昨年と同じコースを走るの、昨年度の自分の記録との戦いです。自己記録の更新や友達との競い合いを目指す姿が見られた大会でした。三学期には第二回校内マラソン大会も計画されています。普段行っている校内の体育的活動の取り組みを大切に、児童一人一人がめあてをもって取り組んでいけるよう支援していきます。

大会結果

- 低学年男子一位 山本結汰
- 低学年女子一位 田仲結愛
- 中学年男子一位 笹鹿眞士
- 中学年女子一位 勇木汐里
- 高学年男子一位 山斗未徠
- 高学年女子一位 渡邊美月

ピカリンこつりゆうかい

十月八日に海士小学校と福井小学校の一年生がけいしよ保育園とお山の教室の年長さんを招待し、福井小学校の体育館と学枝林を使って交流を行いました。これは毎年行われている活動で、一年生は、一年前に招待された側でしたが、今年は招待し年長さんたちを楽しませる側になりました。「みんなでたのしくなかくあそぼう。やさしくたすけあおう。」というめあてのもと、福井小学校の一年生と合同学習を行って準備を進めてきました。本番では、年長さんたちが楽しめるように会を進行したり、困っているときには手を差し伸べたりしながらみんなで楽しみました。一年生の成長が感じられた素敵な会となりました。



歯科指導

毎年、町の保健師さん、歯科衛生士さんが来校し、子ども達への歯科指導を年に一度実施していただいています。今年は一〇月二三日に低学年、中学年、二九日に高学年への発達段階に合わせた指導をしていただきました。歯の仕組みや働き、歯磨きのコツ、歯ブラシの毛先の状態にも気を配ることなどを丁寧に教えてくださいました。



教育インターンシップ実習

海士町は八月三十一日よりJICA（青年海外協力隊）の四名の事前実施研修を引き受けており、本校では那須野昌（なすのしよう）さん（タイランド派遣予定）を二月末まで受け入れております。また、一〇月二七日からは、野村世菜（のむらせな）さんが本校の教育活動に協力していただいています。野村さんは島前高校卒業生で、教育に関心を持ち、今は大人の島留学という制度を使って、海士小学校の子供たちのために何かできることがあればということ協力をいただいています。

学芸会のお知らせ

今年度の学芸会は二月二十八日に計画しています。新型コロナウイルス感染症防止の対策として、本校児童のご家族（親、兄弟、クラブ活動にご協力いただいた講師の皆さんまでを招待して実施する予定です。なお当日はあまチャンネルによる放映を依頼しております。

11月の行事予定

- 2日(月) ノーメディアデー
- 3日(火) 文化の日
- 4日(水) 花壇整備 クラブ活動
- 5日(木) 4年研究授業
プール学習(3・4年)
- 6日(金) プール学習(5・6年)
- 10日(火) プール学習(3・4年)
- 12日(木) プール学習(1・2年)
- 13日(金) 6年子ども議会合同学習
- 16日(月) ノーメディアデー
- 17日(火) SC (PM)
- 18日(水) クラブ活動
- 23日(月) 勤労感謝の日
- 25日(水) チューリップ球根植え
クラブ活動
- 28日(土) 学芸会 (PM)

※ 新型コロナウイルスの状況によっては変更することがあります。